

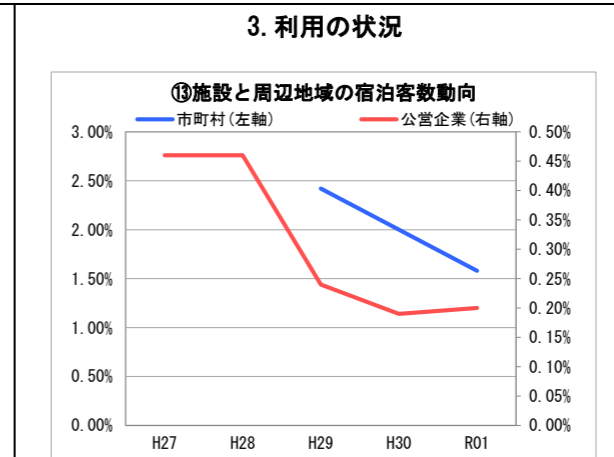
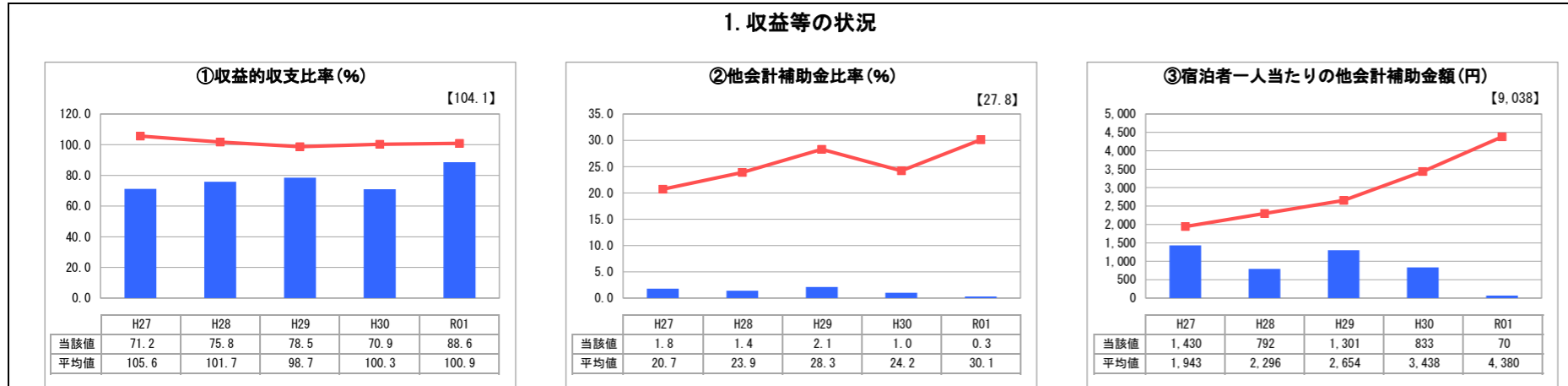
経営比較分析表（令和元年度決算）

宮崎県 宮崎県営国民宿舎 えびの高原荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	4,112	130	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
940	利用料金制	70.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	75.4	有

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

収益的収支比率
H27年度以降、数値は改善傾向にあるが引き続き費用の削減や見直し等、経営改善に向けた取組が必要である。

他会計補助金比率
1～2%台を推移しており、類似施設や全国平均値に比べて独立採算が保たれている。

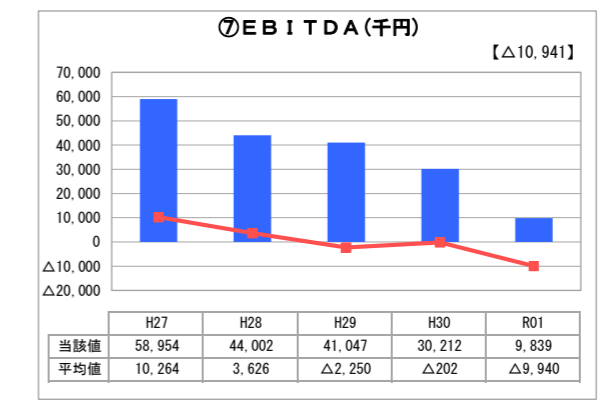
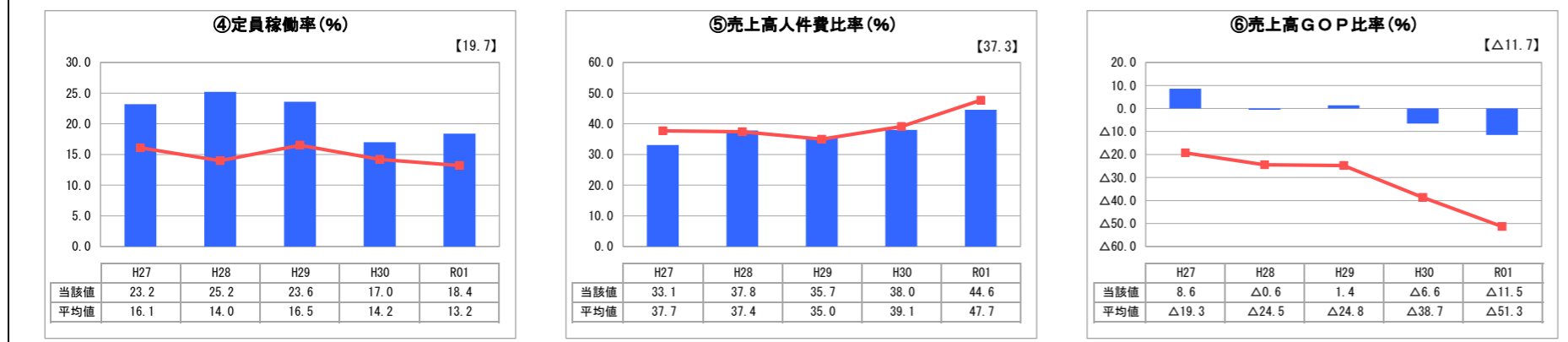
宿泊者一人当たりの他会計補助金額
類似施設平均値に比べて低い数値となっているが、引き続き客単価や他会計補助のあり方を検討していく必要がある。

定員稼働率
概ね横ばいの数値であるが、類似施設や全国平均を上回っている。

売上高人員費率
類似施設の平均値とほぼ同規模の数値であるが、宿泊施設としてのサービス提供に支障が出ることのないよう、引き続き適正な人員費の支出が必要である。

売上高GOP比率
類似施設や全国平均値を上回ってはいるが、H28年度以降の数値が減少傾向にあるため、経営改善に向けた取組が必要である。

EBITDA
施設建設に係る償還金の支払利息を計上しているため、類似施設や全国平均値を上回っている。

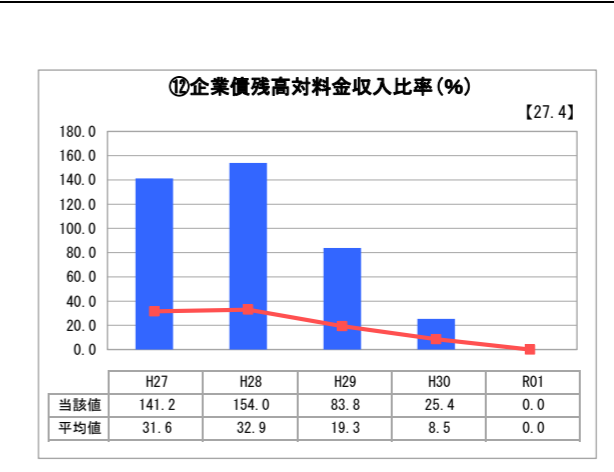
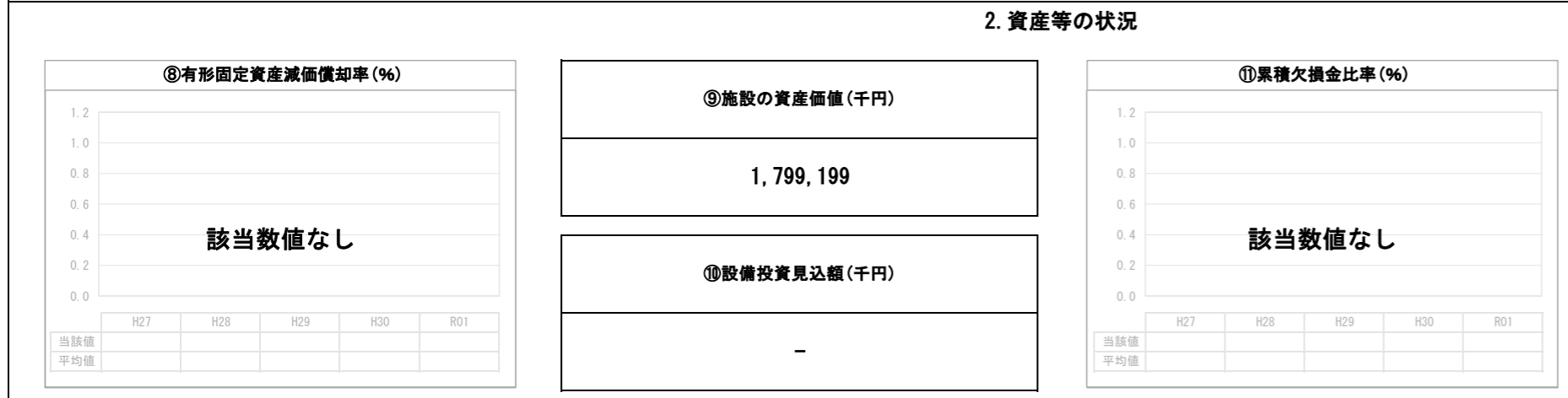


2. 資産等の状況について

企業債残高対料金収入比率
R01で企業債の償還は終了したところであるが必要な更新・投資を行うための財源確保に向けた検討が必要である。

3. 利用の状況について

施設と周辺地域の宿泊客数動向
当該施設は霧島錦江湾国立公園内にあり、周辺の火山活動に伴う規制やメインルートの通行止など、自然災害による影響を大きく受けている。H29～H30年度については度重なる噴火の影響により、利用者数が大きく落ち込んだ。火山活動は落ち着いてきているが、現在も道路規制が継続しており、宿泊者数の回復には時間を要すると思われる。



全体総括

噴火の影響で大きく落ち込んだ利用客の回復を図るため、格安プランの打ち出しや経費削減に取り組んだが、昨年を上回る赤字となった。減少した利用客を回復・維持させるための取組や施設運営方法、また、施設の老朽化対策に充てる経費（投資）や客単価の見直しを含めた経営改善への取組が必要状況である。